



# 永田みなみ台公園の秋

横浜市南区永田みなみ台  
2021年11月



南永田団地の東端に広さ約一ヘクタールの永田みなみ台公園がある。お休みとなると少年達の野球やサッカーで賑やかだ。  
夕方になり、ちびっ子サッカーチームが引きあげると、近隣の子供達が、ボールを蹴りながら楽しんで居る。陽が落ちるまでの楽しみだ。

## 東京の面積が広がった？ 人口の都市集中を考える

人口の大都市集中、特に東京圏への集中が話題になっている。  
都心に超高層ビルが林立。事務所が増えれば、働く人も増える。そうならば住まいが必要。高層マンションができる。  
「高層化」とは魔法。事務所用地、マンション用地の面積が何倍もあるかのようにして何倍もの事務所や住宅を作れるようにするもの。建設業者は大儲け。そして人口が集中する。すると学校等、公共施設が必要に。しかし、高層化で事務所やマンションが増えても、学校等公共施設の用地が増える訳では無い。  
素敵なビルやマンションが出来ると、その負担は既に住んでいる人々の肩にもものしかかる。これが「人口の都市集中問題」の本質だ。その一方で地方の過疎化が進む。立派な家が空き家になっている。どうして東京に？  
官庁の権限を中央に集中させると、許認可などの為に各会社はそこに足を運ばざるを得ない。こうして各会社は事務所を東京圏に置かざるを得ず人口の東京集中が起きる。  
どうすれば東京集中を防げるのだろうか？  
先ず、超高層のオフィスビル、マンションを制限したらどうだろう。オフィスが確保できず、住宅も確保できなければ東京に出来ない。許認可もリモートにすれば良いのでは？  
他方、地方のオフィスを優遇したらどうだろう。労働者もゆとりした快適な住まいを得られるのでは？  
あなたはどうか思われますか？

一九八〇年頃、公園が作られ、外周に沿って椎、檜、白樺、樺などの若木が植えられた。それが、今は、大きく育っている。

落葉樹が紅葉を始めている。常緑樹と混ざっているのが面白い。小さな子供が、ドングリを拾ったり「こんなにきれい」と赤や黄色の落ち葉を拾っていた。

次週、次々週はお休みします

